

【薬理／実務、薬剤／実務】

◎指示があるまで開いてはいけません。

注 意 事 項

- 試験問題の数は、問246から問285までの40問。
13時から14時40分までの100分以内で解答すること。
- 解答方法は次のとおりである。
 - 一般問題（薬学実践問題）の各問題の正答数は、問題文中に指示されている。問題の選択肢の中から答えを選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。なお、問題文中に指示された正答数と異なる数を解答すると、誤りになるから注意すること。

(例) 問500 次の物質中、常温かつ常圧下で液体のものはどれか。2つ選べ。

- 1 塩化ナトリウム 2 プロパン 3 ベンゼン
4 エタノール 5 炭酸カルシウム

正しい答えは「3」と「4」であるから、答案用紙の

問500 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 のうち 3 と 4 を塗りつぶして
問500 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 とすればよい。

- 解答は、○の中全体をHBの鉛筆で濃く塗りつぶすこと。塗りつぶしが薄い場合は、解答したことにならないから注意すること。

悪い解答例  (採点されない)

- 解答を修正する場合は、必ず「消しゴム」で跡が残らないように完全に消すこと。鉛筆の跡が残ったり、「」のような消し方などをした場合は、修正又は解答したことにならないから注意すること。
- 答案用紙は、折り曲げたり汚したりしないよう、特に注意すること。
- 設問中の科学用語そのものやその外国語表示（化合物名、人名、学名など）には誤りはないものとして解答すること。ただし、設問が科学用語そのもの又は外国語の意味の正誤の判断を求めている場合を除く。
- 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（旧称：薬事法）について、問題文中では「医薬品医療機器等法」（旧称：薬事法）と表記する。
- 問題の内容については質問しないこと。

一般問題（薬学実践問題）【薬理／実務】

問 246-247 32歳女性。喫煙歴5年、禁煙を試みたいと薬局を訪れた。現在、不眠症で、ゾピクロン錠を不眠時に服用している。禁煙のためにニコチンガム、ニコチンパッチ、バレニクリン酒石酸塩錠のいずれかを使用するか悩んでいるとのことだった。

問 246（実務）

薬剤師が来局者に説明する内容として、適切でないのはどれか。 2つ選べ。

- 1 ニコチンパッチは、高用量から開始し、段階的に減らします。
- 2 ニコチンパッチは、妊婦にも使用できます。
- 3 ニコチンガムは、コーヒーや炭酸飲料を飲んだあとは吸収がよくなります。
- 4 ニコチンガムは、むかつきやのどへの刺激が起こることがあります。
- 5 バレニクリン酒石酸塩錠は、喫煙に代わってニコチンを補充する薬剤ではありません。

問 247（薬理）

この患者に関連する薬物依存・耐性の記述のうち、正しいのはどれか。 2つ選べ。

- 1 ゾピクロンとニコチンは、いずれも精神的依存を起こすが、身体的依存は生じない。
- 2 ゾピクロンとニコチンは、いずれも耐性を生じない。
- 3 ニコチンは、中脳辺縁ドーパミン神経系を活性化する。
- 4 バレニクリンは、ニコチン性アセチルコリン受容体の部分刺激薬であり、ニコチン依存症の喫煙者の禁煙による退薬症候を軽減する。

問 248-249 17 歳男性。高等学校での授業中に黒板の文字が見えにくくなり眼科を受診した。仮性近視であると診断され、以下の薬剤が処方された。お薬手帳を確認したところ、整形外科で湿布薬を処方されていることがわかった。

(処方)

トロピカミド点眼液 0.4% 5 mL 1 本

1 回 1 滴 1 日 1 回就寝前 両眼点眼

問 248 (実務)

この点眼剤に関する記述のうち、適切でないのはどれか。2つ選べ。

- 1 緑内障の患者には禁忌である。
- 2 点眼後、しばらくは強い光を直接見ないように注意する。
- 3 湿布薬の揮発性成分の影響があるので、開封した湿布薬と一緒に保管しない。
- 4 容器に記載されている使用期限は開封後の品質を保証するものである。
- 5 指示通りに使用すると、約 1 週間で無くなる量である。

問 249 (薬理)

トロピカミドによる仮性近視改善に関わる機序はどれか。1つ選べ。

- 1 ムスカリン性アセチルコリン受容体の刺激により毛様体筋が収縮し、水晶体の厚さが増して屈折率が上昇する。
- 2 ムスカリン性アセチルコリン受容体の刺激により毛様体筋が弛緩し、水晶体は扁平化して屈折率が減少する。
- 3 ムスカリン性アセチルコリン受容体の遮断により毛様体筋が収縮し、水晶体の厚さが増して屈折率が上昇する。
- 4 ムスカリン性アセチルコリン受容体の遮断により毛様体筋が弛緩し、水晶体は扁平化して屈折率が減少する。
- 5 コリンエステラーゼの活性化により毛様体筋が収縮し、水晶体の厚さが増して屈折率が上昇する。
- 6 コリンエステラーゼの活性化により毛様体筋が弛緩し、水晶体は扁平化して屈折率が減少する。

問 250-251 66 歳男性。パーキンソン病と診断され、以下の薬剤で治療してきたが、最近、薬の効果持続時間が短縮してきた。

(処方)

レボドパ 100 mg・カルビドパ配合錠	1 回 1 錠 (1 日 3 錠)
トリヘキシフェニジル塩酸塩錠 2 mg	1 回 1 錠 (1 日 3 錠)
	1 日 3 回 朝昼夕食後 30 日分

問 250 (実務)

この患者の薬物治療の対応策として、ふさわしくないのはどれか。1 つ選べ。

- 1 レボドパ 100 mg・カルビドパ配合錠を増量する。
- 2 プラミペキソール塩酸塩水和物徐放錠を追加する。
- 3 エンタカポン錠を追加する。
- 4 セレギリン塩酸塩錠を追加する。
- 5 チアプリド塩酸塩錠を追加する。

問 251 (薬理)

処方薬および前問中の薬物に関する記述のうち、正しいのはどれか。2 つ選べ。

- 1 カルビドパは、末梢性芳香族 L-アミノ酸デカルボキシラーゼ阻害薬で、レボドパが末梢でドパミンに変換されるのを抑制する。
- 2 プラミペキソールは、ドパミン神経からのドパミン遊離を促進する。
- 3 エンタカポンは、ドパミン D₂ 受容体を刺激する。
- 4 セレギリンは、モノアミン酸化酵素 B を阻害することによりドパミンの代謝を抑制する。
- 5 チアプリドは、カテコール-O-メチルトランスフェラーゼを阻害する。

問 252-253 28歳女性。統合失調症と診断され、今回、初めて以下の薬剤が処方された。

(処方1)

リスペリドン口腔内崩壊錠 1 mg 1回1錠 (1日2錠)
1日2回 朝夕食後 14日分

(処方2)

ブロチゾラム口腔内崩壊錠 0.25 mg 1回1錠 (1日1錠)
1日1回 就寝前 14日分

問 252 (薬理)

処方された薬物に関する記述として正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 γ -アミノ酪酸 GABA_A 受容体の働きを高め、睡眠を誘発する。
- 2 ドパミン D₂ 受容体を刺激し、運動機能の低下をもたらすことがある。
- 3 セロトニン 5-HT₂ 受容体を遮断し、統合失調症の陰性症状を改善する。
- 4 モノアミン酸化酵素 B を阻害し、下垂体からのプロラクチン遊離を促進する。
- 5 セロトニン 5-HT_{1A} 受容体を遮断して、抗不安作用を示す。

問 253 (実務)

この患者への服薬指導および処方薬に関する説明の内容として、適切でないのはどれか。1つ選べ。

- 1 月経不順となることがあります。
- 2 口渇が現れることがあります。
- 3 服用中は自動車の運転など危険を伴う作業をしないようにしてください。
- 4 リスペリドン口腔内崩壊錠は、通常、徐々に減量する薬剤です。
- 5 ブロチゾラム口腔内崩壊錠は、服用後に一時的な記憶の抜け落ちを起こすことのある薬剤です。

問 254-255 64 歳男性。不安定狭心症のため、PCI（経皮的冠動脈インターベンション）を受けた。その後の治療薬として新たに以下の薬剤が処方された。

(処方 1)

アスピリン腸溶錠 100 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)
	1 日 1 回 朝食後 14 日分

(処方 2)

チクロピジン塩酸塩錠 100 mg	1 回 1 錠 (1 日 2 錠)
	1 日 2 回 朝夕食後 14 日分

(処方 3)

ロスバスタチンカルシウム錠 2.5 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)
	1 日 1 回 朝食後 14 日分

問 254 (薬理)

処方された薬剤に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 処方された用量のアスピリンは、血管内皮細胞のプロスタグランジン I_2 生成よりも、血小板のトロンボキサン A_2 生成をより強く阻害する。
- 2 アスピリンは、ロスバスタチンによる筋肉痛を緩和する目的で処方されている。
- 3 チクロピジンの活性代謝物が遮断する ADP の $P2Y_{12}$ 受容体は、 G_q タンパク質共役型受容体である。
- 4 チクロピジンの副作用として、血栓性血小板減少性紫斑病、無顆粒球症及び重篤な肝障害がある。
- 5 ロスバスタチンは、3-ヒドロキシ-3-メチルグルタリル-CoA (HMG-CoA) の生合成を阻害し、血清中の低比重リポタンパク質 (LDL) 量を減少させる。

問 255 (実務)

この患者への説明および指導の内容として、適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 アスピリン腸溶錠は、術後の経過が良ければ、一週間程度で中止します。
- 2 チクロピジン塩酸塩錠には、狭くなった血管を拡げる作用があります。
- 3 定期的に血液検査を必要とする薬剤が処方されていますので、2 週間後に受診してください。
- 4 筋肉痛や脱力感が起こることがありますが、一時的なものなので心配ありません。
- 5 出血しやすくなるので、歯肉や鼻などからの出血があれば受診してください。

問 256-257 55 歳女性。気管支ぜん息のため吸入ステロイド薬を用いて治療中である。
高血圧症となったため、降圧薬も用いることとなった。

問 256 (実務)

この患者に対して禁忌である薬剤はどれか。1つ選べ。

- 1 シルニジピン錠
- 2 イミダプリル塩酸塩錠
- 3 テルミサルタン錠
- 4 クロニジン塩酸塩錠
- 5 カルテオロール塩酸塩徐放性カプセル

問 257 (薬理)

前問の薬剤のうち、血管平滑筋細胞に直接作用して血管を拡張させるのはどれか。2つ選べ。

- 1 シルニジピン錠
- 2 イミダプリル塩酸塩錠
- 3 テルミサルタン錠
- 4 クロニジン塩酸塩錠
- 5 カルテオロール塩酸塩徐放性カプセル

問 258-259 55 歳男性。下記の処方せんを持って来局した。患者は半年前にヘリコバクター・ピロリ菌が陽性と診断され、かかりつけ医にて一次除菌を行ったが不成功であった。今回、二次除菌療法を行うことになった。

(処方)

ラベプラゾール Na 錠 10 mg	1 回 1 錠 (1 日 2 錠)
アモキシシリンカプセル 250 mg	1 回 3 カプセル (1 日 6 カプセル)
<input type="text" value="薬剤 1"/>	1 回 1 錠 (1 日 2 錠)
	1 日 2 回 朝夕食後 7 日分

問 258 (実務)

二次除菌療法で使用される として適切なのはどれか。1 つ選べ。

- 1 クラリスロマイシン錠 200 mg
- 2 アジスロマイシン錠 250 mg
- 3 メトロニダゾール錠 250 mg
- 4 メベンダゾール錠 100 mg
- 5 アルベンダゾール錠 200 mg

問 259 (薬理)

の作用機序として正しいのはどれか。1 つ選べ。

- 1 ヒスタミン H_2 受容体を遮断する。
- 2 DNA の二本鎖を切断する。
- 3 リボソームの 50S サブユニットと結合し、タンパク質合成を阻害する。
- 4 H^+, K^+ -ATPase を非可逆的に阻害する。
- 5 ウレアーゼを阻害する。

問 260-261 68歳男性。骨転移のある前立腺がんと診断され、以下の薬剤が処方された。

(処方1)

ゴセレリン酢酸塩デポ 3.6 mg 1回 3.6 mg
4週ごとに1回 前腹部に皮下注射

(処方2)

ゾレドロン酸水和物注射液 4 mg 1回 4 mg
4週ごとに1回 点滴静注

(処方3)

ビカルタミド口腔内崩壊錠 80 mg 1回 1錠 (1日1錠)
1日1回 朝食後 14日分

(処方4)

ジクロフェナク Na 坐剤 25 mg 1回 1個
痛い時 28回分

問 260 (薬理)

以下の記述のうち、いずれの処方薬にも該当しないのはどれか。1つ選べ。

- 1 シクロオキシゲナーゼを阻害し、プロスタグランジンの生成を抑制する。
- 2 アンドロゲン受容体を遮断し、前立腺がん細胞の増殖を抑制する。
- 3 黄体形成ホルモン放出ホルモン (LH-RH) 受容体を競合的に遮断し、ゴナドトロピンの分泌を抑制する。
- 4 下垂体の機能を抑制し、精巣からのテストステロン分泌を抑制する。
- 5 骨吸収を抑制し、高カルシウム血症を改善する。

問 261 (実務)

この患者への服薬に関する説明および指導の内容として、適切なのはどれか。

2つ選べ。

- 1 処方1の薬剤を使い始めたころに、一時的に尿の出が悪くなることがあります。
- 2 処方2の薬剤使用中は、出血が止まりにくくなるので、抜歯などは控えてください。
- 3 処方3の薬剤は、痛みをやわらげたり、骨折を予防するのに有効です。
- 4 処方4の薬剤は、挿入による刺激で便意が起こることがあるので、できるだけ排便後に使用してください。

問 262-263 66 歳男性。最近、腰痛が原因で、寝付きも良くないため、整形外科を受診した。骨粗しょう症と診断され、処方せんを持って薬局を訪れた。

(処方 1)

ラロキシフェン塩酸塩錠 60 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)
アルファカルシドールカプセル 0.5 μ g	1 回 1 カプセル (1 日 1 カプセル)
	1 日 1 回 朝食後 14 日分

(処方 2)

L-アスパラギン酸カルシウム錠 200 mg	1 回 2 錠 (1 日 6 錠)
メナテトレノンカプセル 15 mg	1 回 1 カプセル (1 日 3 カプセル)
	1 日 3 回 毎食後 14 日分

(処方 3)

セレコキシブ錠 100 mg	1 回 1 錠 (1 日 2 錠)
	1 日 2 回 朝夕食後 14 日分

問 262 (薬理)

処方された薬剤の作用機序として正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 アンドロゲン受容体に結合し、タンパク質同化を促進する。
- 2 オステオカルシンのカルボキシ化を介し、骨形成を促進する。
- 3 カルシウムとリンの腸管からの吸収を促進する。
- 4 カルシトニン受容体に結合し、骨吸収を抑制する。
- 5 ヒドロキシアパタイトに結合し、骨吸収を抑制する。

問 263 (実務)

薬剤師はこの処方に関して医師へ疑義照会を行った。疑義が生じた薬剤として最も可能性が高いのはどれか。1つ選べ。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 ラロキシフェン塩酸塩錠 | 2 アルファカルシドールカプセル |
| 3 L-アスパラギン酸カルシウム錠 | 4 メナテトレノンカプセル |
| 5 セレコキシブ錠 | |

問 264-265 65 歳男性。糖尿病性腎症により入院した。血糖コントロールのためのインスリン製剤のほか、以下の薬剤が処方された。

(処方 1)

球形吸着炭細粒分包 2 g 1 回 1 包 (1 日 3 包)
1 日 3 回 朝昼夕食後 2 時間 7 日分

(処方 2)

ロサルタン K 錠 50 mg 1 回 1 錠 (1 日 1 錠)
1 日 1 回 朝食後 7 日分

(処方 3)

フェロジピン錠 2.5 mg 1 回 1 錠 (1 日 2 錠)
1 日 2 回 朝夕食後 7 日分

(処方 4)

ダルベポエチンアルファ (遺伝子組換え) 注射液 20 μ g 1 回 20 μ g
静脈内投与

問 264 (実務)

この患者への服薬説明および指導の内容として、適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 処方 1 の薬剤は、小腸で吸収されて、血液中の有害物質を吸着して排泄させます。
- 2 処方 2 および 3 の薬剤は、いずれも血圧を下げます。
- 3 処方 2 の薬剤で血清カリウム値が低くなることがあります。
- 4 グレープフルーツジュースは、処方 3 の薬剤の作用を増強する恐れがあります。
- 5 処方 4 の薬剤は、毎日注射しないと効果が得られません。

問 265 (薬理)

ダルベポエチンアルファの薬理作用および副作用に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 単球および単球系前駆細胞に作用して、増殖を促進する。
- 2 エリスロポエチン (EPO) の EPO 受容体に対する親和性を高める。
- 3 エポエチンアルファと比較して、持続的な赤血球造血作用を示す。
- 4 血圧低下を起こしやすい。
- 5 血液粘稠度が上昇し、血栓塞栓症を誘発するおそれがある。

一般問題（薬学実践問題）【薬剤／実務】

問 266-267 65歳女性。老年内科を受診、骨粗しょう症と診断され、下記の処方が出された。

(処方)

リセドロン酸 Na 錠 17.5 mg 1回1錠（1日1錠）

毎週水曜日 起床時 4日分（投与実日数）

問 266（実務）

薬剤師が行う服薬指導の内容として適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 180 mL程度の十分な量の水と一緒に服用するよう指導した。
- 2 嚙んだり、口中で溶かしたりせずに服用するよう指導した。
- 3 起床後、食事を摂ってから服用するよう指導した。
- 4 服用を忘れた場合には、気がついたときにすぐ服用するよう指導した。

問 267（薬剤）

この患者は、日常的に牛乳を飲用していることがわかった。リセドロン酸 Na 錠の牛乳による服用についての記述のうち、正しいのはどれか。1つ選べ。

- 1 牛乳中の油脂成分によりリセドロン酸の溶解が促進され、良好に吸収される。
- 2 牛乳中の油脂成分により胃粘膜が保護されるので、服用後、すぐに横になって良い。
- 3 リセドロン酸は、牛乳中のカルシウムイオンとキレートを形成するので、吸収が低下する。
- 4 カルシウム補給のためにも、牛乳での服用が推奨されている。
- 5 リセドロン酸は、牛乳中の成分とは特に相互作用しないので、水で服用した場合と比べて、吸収に違いは認められない。

問 268-269 35 歳女性。妊娠初期に妊娠糖尿病と診断され、食事療法を行っていたが血糖コントロールが不良となったため、薬物療法の開始が検討された。

問 268 (実務)

この患者に用いる薬物として最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- 1 アカルボース
- 2 ヒトインスリン (遺伝子組換え)
- 3 シタグリプチンリン酸塩水和物
- 4 ナテグリニド
- 5 メトホルミン塩酸塩

問 269 (薬剤)

薬物の胎盤透過に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 一般に、分子量 5,000 以上の薬物も透過して胎児へ移行する。
- 2 胎盤には P-糖タンパク質が発現し、薬物の胎児への移行を促進している。
- 3 多くの薬物の胎盤透過は、pH 分配仮説に従う。
- 4 一般に、母体中の血漿タンパク質結合形薬物は、胎児へ移行しない。
- 5 一般に、水溶性の高い薬物ほど胎盤を透過しやすい。

問 270-271 腎移植を受けた患者が退院間近になり、病棟担当薬剤師が退院時服薬指導のために病室を訪問した。

患者から、「移植コーディネーターから、退院後の食生活で特にセントジョーンズワートや柑橘類、生魚などの摂取は控えるように言われているのですが、どのような理由なのでしょう」との質問があった。なお、当該患者にはシクロスポリンが処方されている。

問 270 (実務)

上記の質問に対する薬剤師の回答として適切なのはどれか。 2つ 選べ。

- 1 セントジョーンズワートは、免疫抑制薬の働きを弱める恐れがあるからです。
- 2 セントジョーンズワートは、免疫抑制薬の血中濃度を高める恐れがあるからです。
- 3 柑橘類の中には免疫抑制薬の働きを弱めてしまうものがあるからです。
- 4 生魚の成分には免疫抑制薬の働きを強めてしまうものがあるからです。
- 5 生魚に付着している微生物によって食中毒を起こす恐れがあるからです。

問 271 (薬剤)

シクロスポリンの経口投与時の体内動態および投与設計に関する記述のうち、正しいのはどれか。 2つ 選べ。

- 1 シクロスポリンの投与量は、腎移植後の日数に関わらず一定に保つことが推奨される。
- 2 シクロスポリンの投与設計は、一般にトラフ濃度に基づいて行われる。
- 3 シクロスポリンによる腎移植後の拒絶反応のコントロールが不良の場合は、シクロスポリンとタクロリムスの併用を行う。
- 4 血清クレアチニン値の上昇が観察された場合は、シクロスポリンによる副作用の可能性があるので、直ちに休薬する必要がある。
- 5 自己乳化型マイクロエマルジョン製剤投与後のシクロスポリンの消化管吸収は、胆汁分泌量や食事の影響を受けにくい。

問 272-273 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症の患者に対しバンコマイシンが投与されていたが、効果が得られなかったため、テイコプラニンの使用に関して医師と協議した。

問 272（実務）

テイコプラニンの使用上の留意点として適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 投与終了1～2時間後の血中濃度を測定する必要がある。
- 2 レッドマン症候群を避けるため、30分以上かけて点滴静注する。
- 3 血中タンパク結合率が低いため、血中アルブミン濃度を考慮する必要はない。
- 4 バンコマイシンと比べて消失半減期が長いため、負荷投与が必要である。
- 5 初期投与量は、腎機能に応じて調節する。

問 273（薬剤）

テイコプラニンの静脈内投与終了後の血中濃度推移について、分布終了後の遅い時間（消失相）の血中濃度データを用いて線形1-コンパートメントモデルで解析した場合と、初期の分布相のデータも含めて線形2-コンパートメントモデルで解析した場合には、得られる薬物動態パラメータの値が異なる。薬物動態パラメータの関係について正しい記述はどれか。2つ選べ。

- 1 2-コンパートメントモデルから得られる全身クリアランスは、1-コンパートメントモデルから得られる値よりも小さい。
- 2 2-コンパートメントモデルにより推定される投与終了直後の血中濃度は、1-コンパートメントモデルから得られる値よりも小さい。
- 3 2-コンパートメントモデルから得られる中央コンパートメントの分布容積は、1-コンパートメントモデルから得られる分布容積よりも小さい。
- 4 2-コンパートメントモデルから得られる消失相の半減期は、1-コンパートメントモデルから得られる半減期よりも短い。
- 5 2-コンパートメントモデルから得られる血中濃度時間曲線下面積は、1-コンパートメントモデルから得られる値よりも小さい。

問 274-275 院内のレジメンを管理する委員会において、制吐薬として用いる薬物について薬剤師が説明した。

「この薬物は、5-HT₃受容体拮抗薬です。他の5-HT₃受容体拮抗薬に比べて消失半減期が約42時間と長く、そのため遅発期の悪心・嘔吐にも効果があります。」

問 274 (実務)

薬剤師が説明した薬物はどれか。1つ選べ。

- 1 アザセトロン塩酸塩
- 2 オンダンセトロン塩酸塩水和物
- 3 グラニセトロン塩酸塩
- 4 トロピセトロン塩酸塩
- 5 パロノセトロン塩酸塩

問 275 (薬剤)

この薬物0.75 mgを急速静脈内投与するとき、7日後の血中濃度に最も近い値はどれか。1つ選べ。ただし、この薬物の体内動態は線形1-コンパートメントモデルに従うものとし、分布容積は750 Lとする。

- 1 0.25 $\mu\text{g}/\text{mL}$
- 2 0.125 $\mu\text{g}/\text{mL}$
- 3 0.0625 $\mu\text{g}/\text{mL}$
- 4 0.25 ng/mL
- 5 0.125 ng/mL
- 6 0.0625 ng/mL

問 276-277 65 歳男性。変形性関節症の治療中であり、以下の薬剤が処方された。

(処方)

ロキソプロフェン Na テープ 50 mg (7 × 10 cm 非温感) 28 枚

1 日 1 回 右膝に 1 枚貼付

問 276 (実務)

本テープ剤の使用に関する記述のうち、誤っているのはどれか。1 つ選べ。

- 1 原因療法ではなく、対症療法である。
- 2 アスピリンぜん息の患者に対しては禁忌である。
- 3 光線過敏症の既往歴を持つ患者に対しては禁忌である。
- 4 湿疹または発疹の部位には使用しない。
- 5 胃不快感などの消化器症状が現れることがある。

問 277 (薬剤)

本テープ剤に関する記述のうち、誤っているのはどれか。1 つ選べ。

- 1 室温で保存する。
- 2 製剤均一性試験法の適用を受ける。
- 3 溶出試験法の適用外である。
- 4 膏体は支持体に展延されている。
- 5 水を含む基剤を用いた貼付剤である。

問 278-279 入院中の5歳女児。体重 21 kg。39.0℃の発熱が認められたので、アセトアミノフェン坐剤 200 mg が投薬されることになった。

問 278 (実務)

アセトアミノフェン坐剤の投薬に関する記述のうち、誤っているのはどれか。

1つ選べ。

- 1 小児に対して一日当たりの最大用量が決められている。
- 2 この患児に重篤な肝障害がある場合には禁忌である。
- 3 この患児に重篤な心機能不全がある場合には禁忌である。
- 4 過度の体温下降が現れることがある。
- 5 この患児がインフルエンザに罹患している場合には禁忌である。

問 279 (薬剤)

本坐剤の基剤には、半合成油脂性基剤であるハードファット (ウイテプゾール) が用いられている。ハードファットに関する記述のうち、正しいのはどれか。1つ選べ。

- 1 直腸内の水分により速やかに溶解し、主薬を放出する。
- 2 冷所保存してはならない。
- 3 飽和脂肪酸のモノ、ジ、トリグリセリドの混合物である。
- 4 坐剤の成形にプラスチック製容器は使用できない。
- 5 結晶多形が存在する。

問 280-281 70 歳男性。同居している家族がインフルエンザを発症したので、予防のために近医を受診したところ以下の処方が出された。

(処方)

ザナミビル水和物ドライパウダーインヘラー 全 20 ブリスター
1 回 2 ブリスター
1 日 1 回 10 日間吸入

問 280 (実務)

本吸入剤の予防投与に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 ザナミビル水和物の用法・用量は、治療に用いる場合と異なる。
- 2 感染者と接触後 3 日目に投与を開始する。
- 3 投与後異常行動の発現のおそれはない。
- 4 A 型および B 型インフルエンザの予防に効果がある。
- 5 ザナミビル水和物の予防効果は吸入中止後も長期に持続する。

問 281 (薬剤)

本吸入剤に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 添加されている乳糖粒子は、薬物粒子同士の過度な凝集を抑える働きがある。
- 2 薬物粒子は、吸入時に効率よく気道に到達する空気力学径である 20 μm 前後の粒子径に設計されている。
- 3 薬物粒子が吸湿すると流動性が低下するため、防湿性の包装が施されている。
- 4 吸入時に、薬物粒子が二次粒子を形成するように設計されている。

問 282-283 75 歳男性。2 日前から腹部に痛みを伴う赤い発疹が認められた。この発疹は小さな水ぶくれとなり帯状に広がり、激しい痛みとなった。近医を受診し、帯状疱疹と診断され、病院に入院となり、以下の薬剤が処方された。

(処方 1)

バラシクロビル錠 500 mg 1 回 2 錠 (1 日 6 錠)
1 日 3 回 朝昼夕食後 7 日分

(処方 2)

ナプロキセン錠 100 mg 1 回 1 錠 (1 日 3 錠)
1 日 3 回 朝昼夕食後 7 日分

問 282 (実務)

上記の処方に対し、病棟薬剤師が注意すべき内容として、最も優先順位が低いのはどれか。1 つ選べ。

- 1 バラシクロビルによる精神神経症状の発現
- 2 肝機能障害時におけるバラシクロビルの用量調節
- 3 ナプロキセンによる消化性潰瘍の発生
- 4 ナプロキセンによる気管支ぜん息の誘発
- 5 ナプロキセンによる浮腫及び高血圧の発現

問 283 (薬剤)

アシクロビルのプロドラッグであるバラシクロビルに関する記述のうち、正しいのはどれか。2 つ選べ。

- 1 アシクロビルにエチレングリコールを結合させた化合物で、体内吸収後の血中滞留性はアシクロビルより優れている。
- 2 主に肝臓のエステラーゼで加水分解されてアシクロビルに変換される。
- 3 経口投与後のアシクロビルとしてのバイオアベイラビリティは、消化管からの吸収率が高まるため、アシクロビル経口投与時のそれより高くなる。
- 4 経口投与後のアシクロビルとしてのバイオアベイラビリティは、肝臓での代謝を回避できるため、アシクロビル経口投与時のそれより高くなる。

問 284-285 70 歳男性。1 年ほど前から夜間頻尿、残尿感を認めていたので、近くの泌尿器科を受診した。前立腺肥大症と診断され、以下の薬剤が処方された。

(処方 1)

ハルナール[®]D 錠 0.2 mg^(註) 1 回 1 錠 (1 日 1 錠)

1 日 1 回 朝食後 14 日分

(注：タムスロシン塩酸塩 0.2 mg を含有する口腔内崩壊錠)

問 284 (実務)

この患者への指導の内容として、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 この薬は、肥大した前立腺を直接的に縮小させ症状を改善すると説明した。
- 2 この薬は、効果が現れるまでに通常数ヶ月間かかることを説明した。
- 3 この薬で、めまい、立ちくらみが現れることがあるので自動車の運転に注意するように指導した。
- 4 この薬は、口腔内崩壊錠であるが、噛み砕かずに服用するように説明した。

問 285 (薬剤)

処方された口腔内崩壊錠に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 錠剤表面が、水不溶性高分子でコーティングされている。
- 2 錠剤表面が、腸溶性高分子でコーティングされている。
- 3 口腔粘膜からの薬物吸収を期待した製剤である。
- 4 滑沢剤として、ステアリン酸塩が添加されている。
- 5 水に溶解易い糖類が、添加されている。